事業完了報告書

提出日：　　2023 年　　4 月　　20 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人 Tansa
（2）事業名：市民社会の調査・発信力強化プロジェクト
（3）事業実施期間：2020 年 4 月～2023 年 3 月
（4）資金分配団体名：特定非営利活動法人まちぽっと

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☑　一部未公開　／　☑　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 「情報公開規程」が未公開です。理由は以下のとおりです。 Tansa は、NPO 法人として運営する報道機関です。報道機関にとって、取材で得た秘匿情報を守ることは、取材源を守るために必要不可欠な行為です。本助成で実施する Tansa School 事業においても、Tansa は受講生一人一人と秘密保持契約を締結しています。締結により初めて、受講生が取り組む取材テーマの秘匿情報が守られ、Tansa スタッフや他の受講生との情報共有が可能となり、互いに安心して学び合う環境が整います。 報道機関である Tansa が情報公開規程を広く一般に公開することは、Tansa School 事業を含む Tansa の守秘義務が犯されるリスクを高めます。これは報道機関としての信頼を失墜させる、致命的な行為です。 以上の理由から、Tansa では情報公開規程は公開しませんが、法人運営の適切な実施を裏付けるその他の諸規定等は通常どおり公開します。（更なる説明が必要でしたら、対応しますのでご遠慮なくお申し出ください。）
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1） 社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 本助成開始以降、すぐにコンプライアンス委員会を立ち上げ、四半期に一度の頻度で定例委員会を開催するようになった。さらに追って、コンプライアンス規程を作成し、内部だけでなく外部の委員を含んだ委員会にさせた。
（7） 報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ／ ☐ 実施予定もない ※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。 2023 年 4 月末に監事の松井香氏が実施予定。

（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☐ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☐ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☑ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：助成金を使用し購入した物品にシンボルマークのシールを貼付。

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	自団体のウェブサイト アドバンスドコース募集案内 https://tansajp.org/school/8732/ ベーシックコース募集案内、開催レポート https://tansajp.org/school/8726/ https://tansajp.org/school/8797/ https://tansajp.org/school/9092/ https://tansajp.org/school/9300/ ユース合宿レポート https://tansajp.org/youth/gassyuku-1111/ https://tansajp.org/youth/member1/ https://tansajp.org/youth/1st_interview/ https://tansajp.org/youth/gassyuku-2222/ ユース合宿インタビュー動画 https://youtu.be/DaGBfiDgmJI https://youtu.be/no0cYzF1P18 https://youtu.be/FnDLj7BSC8k

		https://youtu.be/COJDBoQBfHk コラム https://tansajp.org/columnists/8920/ 講演時の紹介 上智大学、Slow news Twitter スペース、みずほ銀行、茨城大学、青学ビジネススクール、専修大学
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

Tansa School 開校後、本助成を受けていた間に、各コースのカリキュラムと運営方法を School 事務局全体で検証して今後の改善に活かすことができた。講師の知見だけに頼ることなく、組織として受講生と市民社会のニーズを考える契機とすることができたことは、組織の強化につながった。 新たに認識した課題としては、カリキュラムを完遂した受講生が少なかったことだ。今後は完遂する意欲がある人たちを見出して受講を働きかけていきたい。 求めたい改善点としては、助成団体同士の交流を深める機会を充実させてほしい。広島のフリースクール「木のねっこ」とは、本助成の報告会をきっかけに Tansa School の出前講座を実施することができたが、他にも魅力的な助成団体が多く、もっと交流できればよいと感じた。助成団体同士の交流やイベントに対する助成金があると望ましい。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

Tansa School には、現役記者をはじめ、大学教授や学生、NGO スタッフ、社会投資家、地方議員など、あらゆる職業の方が受講しました。受講生同士がつながりを持てるよう、オンデマンド授業に加えて対面での研修会を実施しました。写真は、2021 年に実施した研修会の様子です。仕事へのモチベーションを共有するワークショップを行いました。

2022 年に実施した研修会には、元朝日新聞特別報道部長の依光隆明さんをゲスト講師に迎えました。依光さんが高知新聞の記者だった時に放ったスクープ「高知県庁・闇融資事件」を題材に、取材を始めてから記事として世に出すまでの過程をお話しいただきました。

2022 年 6 月に、第 1 回ユース合宿を実施しました。参加者は全国の中・高・大学生です。「探査報道とは何か」を学んだり、インタビューの練習を行ったりしました。
写真は、実際の記事を読んで「記事に書かれていないことは何か」を考え、受講生同士でディスカッションする様子です。受け取った情報をただ鵜呑みにせず批判的に読むことや、自分で調べる力が大切だということを学びました。

2023 年 3 月に、第 3 回ユース合宿を実施しました。2022 年 6 月の合宿で取材テーマを決め、取材に着手してから約 7 カ月。これまでに集めた材料を持ち寄って整理し、記事の執筆を始めました。

Tansa 編集長の渡辺周が 2021 年 7 月から 2022 年 4 月にかけて、広島にあるフリースクール「木のねっこ」で授業を実施しました。宮島での 3 回の出前講座と 8 回のオンライン講座を通し、インタビューの仕方や記事の書き方を小学生と中学生に伝授しました。生徒たちは取材・執筆した成果を発表し、それぞれの記事を冊子にまとめました。